

特別会計

収入率、執行率ともに例年並みに推移

区分	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	31億1,410万2千円	13億8,702万7千円	44.5%	11億9,096万7千円	38.2%
後期高齢者医療	3億7,207万1千円	1億1,955万9千円	32.1%	1億1,842万8千円	31.8%
介護保険事業	46億4,947万7千円	19億9,835万3千円	43.0%	19億1,621万4千円	41.2%
下水道事業	10億9,097万4千円	1億1,887万円	10.9%	3億6,378万円	33.3%
農業集落排水事業	1億3,547万6千円	1,548万7千円	11.4%	5,140万3千円	37.9%
合計	93億6,210万円	36億3,929万6千円	38.9%	36億4,079万2千円	38.9%

特別会計とは、特定の歳入歳出を法律や条例に基づき、一般会計と区別して管理し事業を行う会計です。市では左表の5事業が特別会計となっています。執行率が昨年度をやや上回っていますが、例年並みに推移しています。
(参考：平成30年9月30日現在の収入率39.6%、執行率37.2%)

上水道事業会計 令和元年度上半期

収入率は33.7%、執行率は21.2%と例年並み

区分	収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	執行率
収益的収支	6億3,541万7千円	3億1,562万5千円	49.7%	6億3,662万6千円	1億4,093万5千円	22.1%
資本的収支	3億2,065万9千円	611万円	1.9%	6億5,257万4千円	1億3,211万4千円	20.2%
合計	9億5,607万6千円	3億2,173万5千円	33.7%	12億8,920万円	2億7,304万9千円	21.2%

市有財産

基金は前年度比2.9%の減

区分	面積 (㎡)
土地	20,944,589
建物	241,143

区分	平成30年度末現在高
有価証券・出資金・貸付金	4億1,954万6千円
基金（特別会計含む）	65億1,317万6千円

平成30年度決算

健全化判断比率と資金不足比率は「健全」段階

自治体の財政破綻を未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して早期に健全化を促すことを目的とした「財政健全化法」（平成19年6月制定）により財政指標を公表しています。本市の平成30年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率は右の表のとおり、いずれも基準以下となり、すべて「健全」段階となりました。なお、資金不足比率は、自治体が運営する公営企業の健全度を図る指標で、本市の対象となる会計は「上水道事業会計」「下水道事業特別会計」「農業集落排水事業特別会計」の3つの会計です。



市ホームページはこちらからもご覧になれます

健全化判断比率	平成30年度比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率	—	13.28%	20.00%
連結実質赤字比率 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率	—	18.28%	30.00%
実質公債費比率 借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率	8.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率 市が抱える負債の残額から将来財政への圧迫度をみる比率	44.3%	350.0%	
資金不足比率	平成30年度比率	経営健全化基準	備考
資金不足比率 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率	—	20.0%	対象会計は左記事参照

※赤字額、資金不足額が生じない場合は「—」（該当なし）で表示。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。<http://www.city.kazuno.akita.jp/>

2019
KAZUNO

問 財政課 財政班
☎ 30-0209

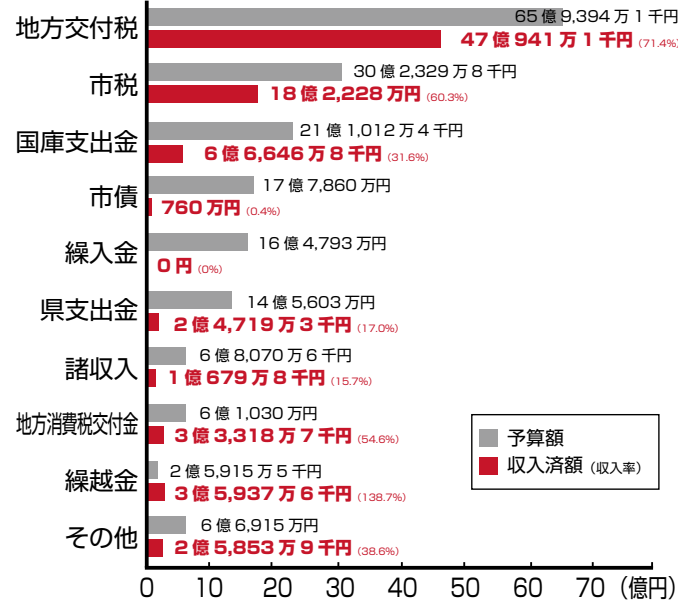
予算の執行状況

令和元年度の執行状況（令和元年9月30日現在）および平成30年度決算における財政健全化法に基づく健全化判断比率・資金不足比率の状況についてお知らせします。

一般会計

執行状況は収入率45.2%、執行率37.0%

◆歳入予算額および収入済額



収入済額

85億1,085万2千円
(収入率45.2%)

歳入予算額
188億
2,923万4千円

※収入率…歳入予算総額（収入となるべき予定額）に対する歳入収入済額（実際に収入となった金額）の割合

市税・国保税の収入状況

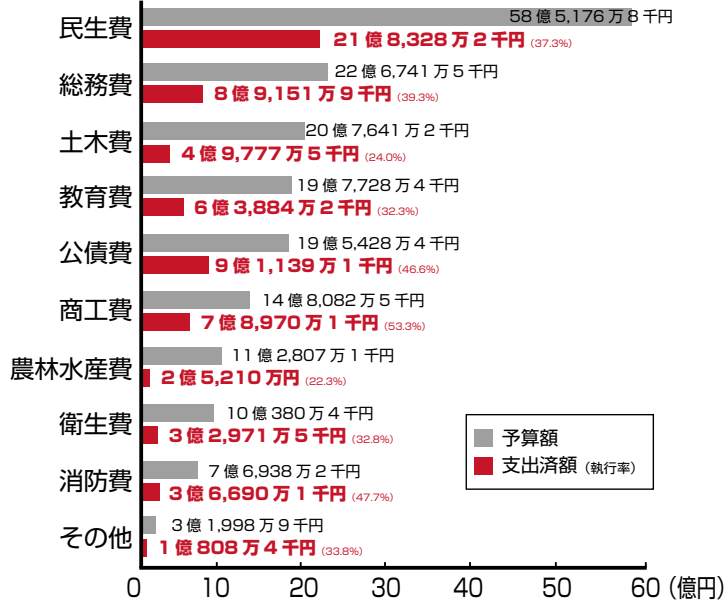
市税収入率は60.3%と対前年度比0.9ポイント増

市税の収入状況は下記のとおりです。なお、市税合計を市民一人当たりの額に換算すると、予算額9万8,923円に対し、現在5万9,626円が納められています。また、国民健康保険税は8万5,732円の予算額に対し、3万4,799円が納められています。

(9月30日現在の人口3万562人、国保被保険者6,511人で算出)

区分	予算額	収入済額	収入率
市民税	11億6,294万1千円	6億4,652万9千円	55.6%
固定資産税	14億7,837万6千円	9億2,839万9千円	62.8%
軽自動車税	1億1,746万5千円	1億1,081万4千円	94.3%
市たばこ税	2億3,184万6千円	1億2,073万9千円	52.1%
入湯税	3,267万円	1,579万9千円	48.4%
計	30億2,329万8千円	18億2,228万円	60.3%
国民健康保険税	5億5,820万4千円	2億2,657万6千円	40.6%

◆歳出予算額および支出済額



支出済額

69億6,931万円
(執行率37.0%)

歳出予算額
188億
2,923万4千円

平成30年度からの繰越額
7億293万8千円を含む

※執行率…歳出予算総額（支出する予定額）に対する歳出支出済額（実際に支出した金額）の割合

地方債残高

一般会計では対前年度比0.2%の減

地方債とは市が事業を行う際に借り入れた債務であり、右の表は9月30日現在の残高です。一般会計の合計は183億2,609万8千円で前年度比0.2%減、特別会計の合計は73億4,204万8千円で前年度比3.5%減となっています。今後も償還額と発行額のバランスなどを考慮し、適切な地方債管理に努めていきます。

一般会計	残高	割合
臨時財政対策債	62億4,887万円	34.1%
教育債	30億7,737万1千円	16.8%
総務債	28億7,890万7千円	15.7%
商工債	11億4,769万9千円	6.3%
民生債	10億3,267万6千円	5.6%
土木債	9億1,206万円	5.0%
公営住宅債	8億6,866万1千円	4.7%
衛生債	8億1,615万5千円	4.5%
農林水産債	7億9,991万3千円	4.4%
その他	5億4,378万6千円	2.9%
計	183億2,609万8千円	100.0%

特別会計	残高	割合
下水道債	58億1,848万7千円	79.2%
農業集落排水債	15億2,356万1千円	20.8%
計	73億4,204万8千円	100.0%